



田村市立都路中学校 学校だより 第10号

令和7年6月13日（金）
発行責任者：校長 佐藤 仁
TEL：0247-75-2009

めざす生徒像：自らの志を語り、目標に向かって主体的に努力できる生徒

めざす学校像：志を育む学校 学び合い、高め合う学校 信頼され、愛される学校

がんばれ！ 都中生

学校だより8号で取り上げたように、前回の大会後、多くの選手の表情に「悔しさ」が見て取れました。来週開催される福島県県中地区中体連総合大会では、その悔しさをバネに自分が、そしてチームが納得できるプレイをできるように願っています。

大会に出場する選手の皆さんへ、アスリートのパワーワードをピックアップしました。修羅場をくぐってきたアスリートの言葉から力を得て大会で活躍してほしいと思います。

○池江璃花子さん（水泳選手）

「私は全力で生きます。」

「私は、神様は乗り越えられない試練を与えない。自分に乗り越えられない壁はないと思っています。」

○大谷翔平さん（メジャーリーガー）

「無理だと思わないことが一番大事だと思います。無理だと思ったら終わりです。」

○張本智和さん（卓球選手）

「1日1日を大事に、1秒も無駄にしない選手になりたい。」

○石川佳純さん（元卓球選手）

「目の前の試合を一生懸命全力でやろう。」

○イチローさん（元メジャーリーガー）

「小さいことを積み重ねることが、とんでもないところへ行くただ一つの道だと思っています。」

○長友佑都さん（サッカー選手）

「成長するためには、感謝の心は必要不可欠なんだ。」

○本田圭佑さん（元サッカー選手）

「自分が信じたことを貫け！ そして、泣いて、泣いて、強くなれ！」

○竹下佳江さん（元バレーボール選手）

「自分の限界を決めないで、もっともっと先へ行けるんだって、自分の可能性を信じて頑張りたい。」

○辰吉丈一郎さん（元プロボクサー）

「99%だめ？ 1%あるやん。1%の希望があれば立ってられる。」

○レブロン・ジェームズ（アメリカのプロバスケットボール選手）

「失敗を受け入れ、そこから学び、成長できなければなりません。」

○八村塁さん（アメリカのプロバスケットボール選手）

「目の前のことに集中して頑張ることが、僕のこれからにつながっていく。」

（「名言の旅」、「夢を叶える名言・格言集」から）



個人的には、白血病を患い長い闘病生活を経て復活し活躍している池江璃花子さんの言葉に心動かされます。「全力で生きる」、強い言葉です。

どの言葉もスポーツにとどまらず、今、そしてこれからの生き方について多くの示唆を与えてくれます。

県中大会に出場する選手も、会場や学校で応援する生徒も、みんな、頑張れ！